

世界人権宣言70周年

みんなで築こう 人権の世紀

考えよう相手の気持ち 未来へつなげよう違いを認め合う心

昭和23年12月10日は、国連で「世界人権宣言」が採択された日です。宣言には「すべての人間は生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」とうたわれています。

本年は、12月4日から10日を「第70回人権週間」と定め、17の強調事項を掲げ、啓発活動を展開します。この機会に、「思いやりの心」「かけがいのない命」など人権について考えてみませんか。

みなさんの毎日の生活の中で、差別、虐待、いじめなど「これは人権問題かな?」と感じたら、一人で悩まず、人権擁護委員や法務局職員にお気軽にご相談ください。

世界人権宣言70周年
みんなで築こう 人権の世紀

考えよう 相手の気持ち
未来へつなげよう 違いを認め合う心

みんなの人権110番 0570-003-110
子どもの人権110番 0120-007-110
女性の人権ホットライン 0570-070-810

<http://www.jinken.go.jp/>

第22回小学生人権ポスターコンテスト入賞者

《特別賞 福井新聞社長賞》
常磐小学校5年 藤野 柁太朗さん



《特別賞 NHK福井放送局長賞》
朝日小学校5年 高野 弘大さん



《優秀賞》
織田小学校5年 田中 鈴乃さん



12月7日(金)まで、作文・ポスターを越前町生涯学習センターで展示しています。

宮崎小学校で人権教室

人権教室は、いじめなどについて考える機会を作ること、子どもたちが相手を思いやる心を体得し、命の大切さに気づくことなどを目的とした啓発活動です。

11月1日、宮崎小学校では1・2年生の児童が、人権擁護委員による紙芝居「すつともだちでいたいから」、絵本「はななき山」を鑑賞し、人権擁護委員からのメッセージにより相手を思いやる心など人権について学びました。

また、人権イメージソング「世界をしあわせに」をみんなで人KENあゆみちゃんと、元気よく合唱しました。

※人権擁護委員は、年間を通じて学校での人権教室を行い、子どもたちに人権啓発を行っています。



宮崎小学校では、人権に関する図書をおくなど、人権コーナーを設けて啓発活動に力をいれています。

人権擁護委員から児童へのメッセージ

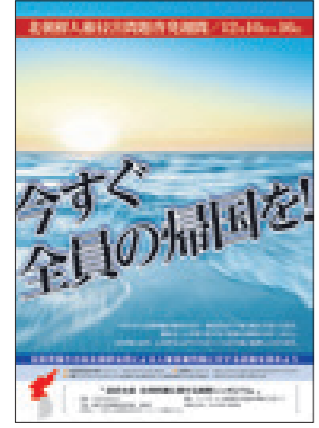
- 周りの人が困っていたり、悲しい顔をしていたら「どうしたの?」と優しい言葉をかけてください。
- 「ありがとう」と言われるとうれしい気持ちになるから親切にされたら「ありがとう」と素直に言える人になってください。



北朝鮮人権侵害問題啓発週間 12月10日～16日

北朝鮮当局による人権侵害問題について、国民の認識をさらに深めるとともに、国際社会と連携しつつ北朝鮮当局による人権侵害問題の実態を説明し、その抑止を図ることを目的として、平成18年6月に「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行され、毎年12月10日から16日までを「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」と定められました。

拉致問題は、わが国の国民的課題であり、この解決を始めとする北朝鮮当局による人権侵害問題への対処が、国際社会を挙げて取り組むべき課題とされ、この問題についての関心と認識を深めていくことが大切です。これを機会に、この問題について改めて考えてみましょう。



人権イメージキャラクターソング 世界をしあわせに



- ① 光があふれる この街で だれかが泣いている 助けをよんでいる ちいさな生命(いのち)でも 見ずてることは できない できない ☆
- ② あなたもわたしも おなじね だれでも生きている あしたを 夢みてる だいじな生命(いのち)だよ いじめることは いけない いけない ☆
- ③ 悲しい涙が こぼれても いつかは乾くのさ みんなで助けあおう すべての生命(いのち)には 生きる権利が あるんだ あるんだ ☆

①～③歌詞の最後に入ります
☆ 人権まもる まもる君 やさしいころ あゆみちゃん み・ん・なで まもる 手をとりあって 世界をもっともっと しあわせにしよう

人権教室で 子どもたちと一緒に歌っています。

アンパンマンの生みの親やなせたかさんが 作詞した人権イメージキャラクターソング 人権イメージキャラクター人KENまもる君・人KENあゆみちゃんの作者であるやなせたかさんの作詞・作曲による人権イメージキャラクターソングを、世界をしあわせに〜です。